



公明党
永尾 邦忠
議員

▼各種医療等の補助・助成制度やバリアフリー化について

Q 島原市内での人工内耳装用の状況と人工内耳や補聴器の電池交換等の助成の状況はどうか。

A 本市での人工内耳装着者は六名である。最初の人工内耳の装着手術や体外機費用は医療保険の対象となり、補聴器については、障害福祉サービスの補装具の対象品目として助成を行っている。電池交換費用の助成については、人工内耳、補聴器ともに助成の対象となっていない。

Q 平等に情報を与えることは市の責務でもあると思うが、電池交換の助成はできないか。

A 長崎県議会に、人工内耳の購入費や補聴器の電池代等に関する公的助成を求める請願が出され、全会一致で採択されている。県でも各市町の意見を集約しており、今後、県が中心となつて助成の内容を詰めていくことになるが、本市でも県との整合性を図りながら検討していきたい。

Q 県は円滑な相談業務を行うことを目的に、障害者手帳交付時に本人の同意を得ることで、障がい者相談員に個人情報を開示できる内容の通達を出していると思うが、本市の状況はどうか。

A 障がい者相談員への個人情報の開示について、障害者手帳取得者に対し承諾の有無を確認していないため、手帳取得者の情報を相談員に開示していない。相談員の活躍は障がい者の方の社会参加や自立を促すことにつながるため、個人情報の提供の確認について今後検討したい。

Q 胃がんリスクを減少させる方法としてピロリ菌検査があるが、中学三年生を対象に市で実施できないか。

A 検査方法が複数あるため、検査費用や他市の状況を見ながら検討したい。

▼公共交通について

Q 平成二十七年度に実施した乗り合いタクシーの実証運行では、事業収支としては厳しい内容となったが市民の足の確保として大事なものだと思う。今後の公共交通をどう考えるか。

A 他市では地域住民、交通事業者、福祉事業者等が複合的に公共交通を実施している事例もあるので、島原市に合ったものを検討していきたい。

【その他の質問項目】

◆施政方針と新年度予算について



バラの会
松坂 昌應
議員

▼島原城のある島原

Q 県文化財に指定された島原城の価値について市長の考えを聞きたい。

A 文化財的な価値が認められ、観光都市島原として、今後さらに価値が高まっていくことを期待している。

Q 島原城を周回する歩道を道路の内側（堀側）にまとめれば現状の危険な動線を解消できると思うがどうか。

A 歩道としての危険性を危惧している。築城四百周年事業等に向けて、電線の地中化等も含めて検討したい。

▼教育を重んじる島原ではなかったのか

Q 十二月に和解を受け入れた東京学生寮の裁判の意味は。また、謝罪と反省はどのように表明するのか。

A 入寮者、保護者の皆様に大変御迷惑をおかけしたことを深くおわび申し上げたい。和解内容は、入寮生及び保護者に対し廃止に至る市の対応に反省すべき点があったことを認め謝罪するというもの。また、島原市は信義に従って誠実に行政手続きを行い、当事者の

権利、利益への配慮を怠ることがないよう努めることを約束するという和解条項があり、今後教育委員会として行政手続きについて十分な事前説明を行うなど、誠意ある対応に努めたい。

Q 卒業謝恩会が派手になってきていることについて、①市長、②教育委員会はどう思っているのか。

A ①質素でも真心が通うような立派な卒業式など、色々な形があつていいと思う。②謝恩会については小学校九校のうち七校が開催している。主役は子供たちであり、改めて謝恩会の開催目的を確認し、学校施設内で行うなど、できるだけ費用がかからないような働きかけを学校と協力して続けていく。

▼島原市はヨソと一緒にある必要はない

Q 市職員の給与は国の人事院勧告に基づいて改定しているということだが、条例で定める給与であれば、市独自に民間事業所を調査して、地域に合った給与とすべきではないのか。

A 人事院と県人事委員会が合同で調査を行っており、本市の人口規模で独自調査の実施は難しいと考えている。

【その他の質問項目】

◆湧水のまち島原

◆市民の声を聞く市長、市役所